

C. G. JUNG  
THE RED BOOK  
LIBER NOVUS  
A Reader's Edition

赤の書

[テキスト版]

C.G. ユング

[著]

ソヌ・シャムダサーニ

[編]

河合俊雄

[監訳]

河合俊雄・田中康裕・高月玲子・猪股 剛

[訳]

創元社

## 目次

テキスト版への序	C・G・ユング著作財団 ウルリッヒ・ヘルニィ	6
序	ウルリッヒ・ヘルニィ	7
謝辞		12

## 序論 新たなる書——C・G・ユングの『赤の書』

ソヌ・シャムダサーニ 16

編集ノート		122
テキスト版への付記／邦訳テキスト版への付記		128
凡例および略語一覧		129

## 第一の書 Liber Primus

プロローグ 来たるべきものの道	135	[fol.i(r)]
第1章 魂の再発見	146	[fol.ii(r)]
第2章 魂と神	151	[fol.ii(r)]
第3章 魂に仕えることについて	159	[fol.ii(v)]
第4章 荒れ野	164	[fol.iii(r)]
荒れ野の経験	167	[fol.iii(r)]
第5章 未来への地獄行き	170	[fol.iii(v)]
第6章 精神の分裂	183	[fol.iv(r)]
第7章 英雄の殺害	188	[fol.iv(v)]
第8章 神の受胎	192	[fol.iv(v)]
第9章 密儀／出会い	204	[fol.v(v)]
第10章 教え	217	[fol.vi(r)]
第11章 解決	229	[fol.vi(v)]

## 第二の書 Liber Secundus

さまよえる者のイメージ	249	[p.1]
第1章 赤い男	250	[p.2]
第2章 森の中の城	259	[p.5]

第3章	卑俗なる者の一人	274	[p.11]
第4章	隠者 / 第一日	283	[p.15]
第5章	第二日	296	[p.22]
第6章	死	308	[p.29]
第7章	以前の寺院の跡	314	[p.32]
第8章	一日目	324	[p.37]
第9章	二日目	339	[p.46]
第10章	呪文	347	[p.50]
第11章	卵が割れること	355	[p.65]
第12章	地獄	365	[p.73]
第13章	生け贄の殺害	371	[p.76]
第14章	神の愚かさ	381	[p.98]
第15章	第二夜	387	[p.100]
第16章	第三夜	404	[p.108]
第17章	第四夜	421	[p.114]
第18章	三つの予言	435	[p.124]
第19章	魔法の贈り物	441	[p.126]
第20章	十字架の道	453	[p.136]
第21章	魔法使い	461	[p.139]

## 試練 Prüfungen

試練	537
エピローグ	645 [p.190]

\* [fol.00] [p.000] は複写版のページを示している。

## 付録

付録A	図(マンダラ)	649
付録B	解説	656
付録C	「黒の書5」の1916年1月16日の記述	674
監訳者後記	河合俊雄	682
テキスト版への監訳者あとがき	河合俊雄	687